

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	合計	項目に対しての現状と改善点
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	5	0	1	33	机を活用して落ち着いて学習、レクリエーションができるようにしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	28	2	0	3	33	職員の名札に資格を入れて表示しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	5	0	18	38	玄関、トイレに段差があるので利用者の状況に合わせて介助をしています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	29	3	0	1	33	保護者にアセスメントを取り、職員間で会議を行い、課題と支援内容を考えて作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	28	4	0	1	33	日々、レクリエーションの時間を作り、指導員の工夫のもと多様な内容で行っています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	4	3	19	33	コロナ禍により自粛しておりますが、今後の様子を見て企画します。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	3	0	0	33	契約時に説明しております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	31	1	1	0	33	連絡帳や送迎の際にコミュニケーションを取るようになっていますが、会えない方や相談の有る方と面談や電話で話をする機会を作っていくようになっています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	6	1	0	33	面談や電話相談など、より保護者様のお悩みなどに寄り添えるよう体制を整備します。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	8	3	7	33	周知出来ない方、お仕事などで参加出来ない方もいらっしゃるので機会の増加などを検討します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	2	0	6	33	苦情等については、社内でも共有し、対応と改善策を協議しております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	2	0	1	33	定期的にワークショップを開催しています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	25	4	0	4	33	藤が丘校通信を毎月発行して活動内容を伝えております。自己評価の結果はHPに掲載しております。
14 個人情報に十分注意しているか	29	2	0	2	33	十分配慮をして取り扱っております。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30	0	1	2	33	緊急時対応については契約時にお伝えしておりますが、その他については、今後周知や説明を行えるよう改善します。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	1	0	8	33	毎月災害訓練や話し合いを行っています。周知できるように会報等に記載します。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	31	2	0	0	33	楽しみに来ていただけるよう、活動内容をより工夫していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	32	1	0	0	33	満足とのお声も頂けておりますが、スタッフの知識・スキルの向上を今後も心がけ、より満足して頂ける支援を行えるよう努力して参ります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。